

## 北方系文化の埋葬習俗 —玉皇廟遺跡を中心に—

八木 聡

### はじめに

これまで、ユーラシアにおける北方系文化の研究は、発掘資料の制限から、遺物の分類や編年が中心であった。しかし、北方系文化を復元するためには、遺物のみではなく遺物を出土する遺構についての研究も必要だと考える。中でも河北地方については、これまで標準となる遺跡の報告がなされず、遺物の出土状況についてほとんど知ることが出来ない状況であった。そういった中、2007年に玉皇廟遺跡（図1-1）の報告書が刊行され、400基の墓の出土状況が明らかとなった。本稿では、まず玉皇廟遺跡の遺構についてデータの統計を出してから他地域の北方系文化と比較を行い、河北地方における北方系文化の埋葬習俗について若干の考察を行う。また考察を行う際に、燕山南麓における北方系青銅器文化の名称は靳楓毅に従い（靳楓毅 2001 p209）、「玉皇廟文化」と呼ぶことにする（1）。

### これまでの研究

北方系青銅器文化の埋葬習俗についての研究では、まず小田木治太郎の研究を挙げることができる（小田木 1997）。これまでの北方系青銅器文化に関連する、ほぼ全ての遺構が墓であることから、必然的にその研究は墓の研究につながる。しかし、遺跡ごとに墓のデータをまとめて比較した点において、小田木の研究は画期的であると言える。主に比較対象は、内蒙古と寧夏・甘肅の北方系青銅器文化の遺跡で、本稿で扱う燕山南麓の北方系青銅器文化については、独自性が強く、調査された遺跡が少ないことから、対象とされていない。小田木はデータの比較から、地域を問わず遺体の安置方法・頭位・副葬品の埋納方式に共通性を持つ一方で、地域によって墓の形態に差が見られることを指摘している（小田木 1997 p464）。内蒙古中南部については、2002年に三宅俊彦らが現地調査を行っている（三宅他 2003）。三宅らは、遺跡の立地・分布が当時の人々の生活を反映していると捉え、遺跡の立地環境、遺物から当時の人々の生活様式について考察を行った。そして田広金に従い毛慶溝類型、

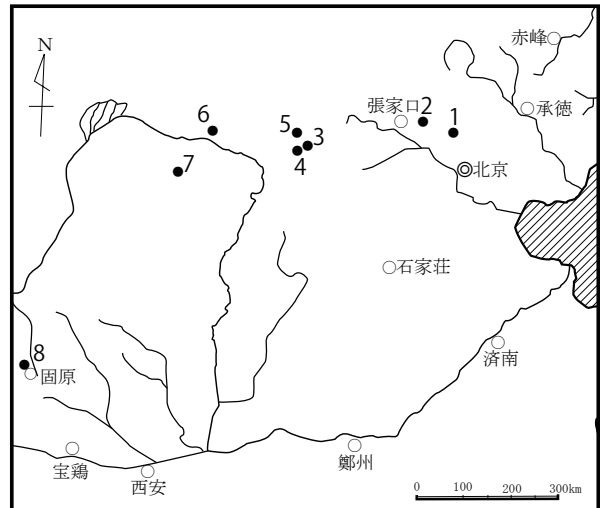


図1. 遺跡分布図

1玉皇廟遺跡. 2小白陽遺跡. 3飲牛溝遺跡. 4毛慶溝遺跡.

5山享泉窖子遺跡. 6西園遺跡. 7桃紅巴拉遺跡. 8馬莊遺跡・于家莊遺跡

西園類型、桃紅巴拉類型の三つに分け、類型ごとに遺跡の立地や出土遺物に違いが出ることを指摘した（三宅他 2003 p88-99）。最後に調査のまとめとして、遊牧集団ごとに独自の「聖地」や「本拠地」を持っていた可能性についても言及している（三宅他 2003 p100）。一方、河北省北部及び北京市を含む燕山南麓地域では、これまで北方系文化に属しながらも、地域的な独自性を見せる玉皇廟文化の考古学資料が確認されてきた。宮本一夫は、玉皇廟文化の特徴として、青銅彝器・容器の有無、虎形牌飾の出土を挙げている（宮本 2000 p290）。さらに宮本は、小白陽遺跡（図1-2）で検出された墓を、遺物をもとにAからDにランク分けし、各ランクの墓が墓壇面積、木棺の有無に対応していることから、階層格差を示している可能性を示した（宮本 2000）（2）。

宮本の研究は、遺物の組み合わせと埋葬の関係に着目している点で優れていると言えるが、宮本自身が玉皇廟文化の特徴として挙げた、青銅彝器・容器については深く言及していない。また各墓の墓壇面積についても、ランクによってそれほど大きな差が見られない。この点について、3群と4群の墓には、それぞれ1基ずつ墓壇面積が2㎡を超えるAランクの墓が存在していることは確かである。見方によっては、墓壇面積と階層がある程度関係していると言える。問題は、階層の最上部にいたと思われる被葬者の墓以外は、ランクごとに厳密に墓の規格を決めていたとは思えない点である。

宮本は、主に埋葬と階層性とのかわりに着目して

いるが、筆者はまず燕山南麓の北方系青銅器文化の埋葬習俗について、基本的なデータをまとめることが必要であると考え。次に燕山南麓地域は、小田木が指摘しているように（小田木 1997 p438）、内蒙古・寧夏・甘肅地域には無い独自性を持っていることから、その独自性が何なのかを明確にするため、他地域との比較を行うべきである。

また、はじめにで触れたが、2007年にこれまで公表されてこなかった玉皇廟遺跡の報告書が刊行された。この遺跡は、燕山南麓の北方系文化と夏家店上層文化・燕文化・匈奴文化の違いを明確にするために発掘された遺跡で、1986年から1991年にかけて6次の調査が行われ、400基の墓が検出された（北京市文物研究所 2007 p4）。玉皇廟遺跡については、断片的な簡報が公表され（北京市文物研究所山戎文化考古隊 1989 p17-35、p45、北京市文物研究所 1990 p79-86）、この地域に独自の北方系青銅器文化が存在していたことを多くの研究者に認識させたが、遺跡の詳細については長く公表されてこなかった。それが、ようやく報告書として公表されたことで、今後玉皇廟文化の研究を大きく前進させていくことになるだろう。特に、遺構についてのまとまった報告は、北方系青銅器文化全体において少なく、玉皇廟遺跡のデータが一つの基準になりえると考え。

以上の遺跡の発掘を含めた研究の経緯を踏まえ、本稿ではまず、玉皇廟遺跡で検出された墓の基本データをまとめる。次に小田木が以前にまとめた内蒙古・寧夏地域との比較を通して、他地域の北方系文化との共通性と玉皇廟遺跡の独自性について若干の考察を行っていく。

### 玉皇廟遺跡の埋葬習俗

これまでの研究を踏まえ、ここでは玉皇廟遺跡の埋葬習俗について検討する。具体的に検討内容は、墓壙の長さとの比率、死者の頭位方向、副葬される動物骨の比率、木棺・二層台の有無である。

まず始めに、墓の長さとの比率について見ていく（図2）。この際、破壊されて長さとの正確な比率が分からない墓については除外する。

まずグラフ上の値は、直線的に増加していくことが見て取れる。このことから墓壙を掘りこむ際に、長さとの間に一定の比率が存在していたことが推測でき

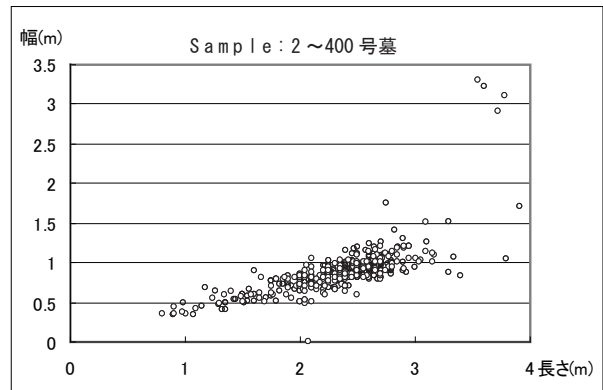
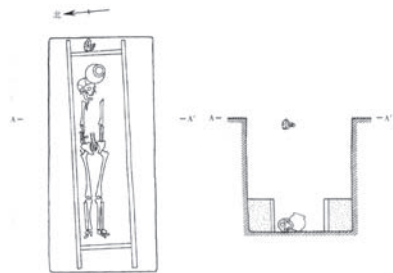
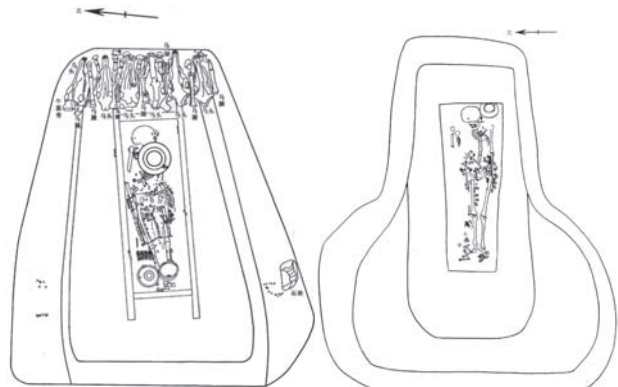


図2. 玉皇廟における墓壙規格



3-1. 玉皇廟 69号墓



3-2. 玉皇廟 18号墓

3-3. 玉皇廟 230号墓

図3. 玉皇廟出土墓

（北京市文物研究所 2007 p499 図239より引用、一部改変：図42；p340 図92より引用）

る。特に値の中心は、長さは2.5mを前後する間に、幅は約1mのところに点が集まっている。中には平均的な比率から外れる墓の中で、長さが3mを超え、幅も3mを超える、もしくは3m近くある墓がいくつか見られる。これらの墓の墓壙の形状は玉皇廟墓地で一般的に見られる長方形（図3-1）ではなく、台形や凸形といった特殊な形状をしている（図3-2・3）。この点は、楊建華がすでに指摘しており（楊建華 2004 p96）、今回の統計は、彼の指摘を客観的に確かめることとなった。一方で、今回玉皇廟遺跡のなかで、各墓壙の長さとの間に、一定の比率が存在していたことが分かっ

た。今後は、墓の大きさと副葬品の多寡の間に、どのような関係があるのかが、課題になると考える。

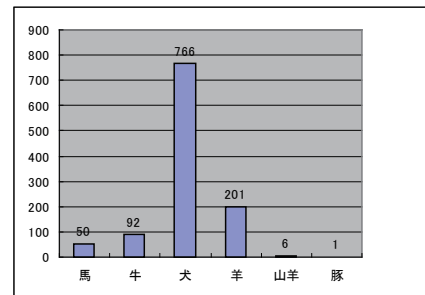
次に、死者の頭位の方向について見ていく。ここでは、便宜的に北を0度とし、右回りで角度を計算した。つまり、東が90度、南が180度、西が270度となる。これに基づき墓に埋葬されている死者の頭位の方向を計算すると図のようになる(図4-1)。グラフは、角度を20度刻みで測ったもので、ほとんどの頭位が61度から120度の間に集まることが分かる。特に81度から100の間が最も多く、玉皇廟遺跡で東という方向が特に重要であったと言える。次に最も多く頭位が集まる61度から120度を、更に5度刻みで統計をとった(図4-2)。86度から90度が最も多く、頭位の振れ幅も更に狭まった中に集中しており、20度刻みのグラフ同様に東が重要であったことを示している。

副葬される動物骨の頭数及び比率については、玉皇廟遺跡の報告書に記載されている、玉皇廟墓地墓葬登記総表をもとに統計をとった(北京市文物研究所 2007 p1442-1506)。動物の頭数を数えるために、今回は副葬された動物の頭骨を数えたが、同様なことは既に報告書で行われ、結果が公表されている(北京市文物研究所 2007 p112)。しかし、墓葬登記総表をもとに出した頭数と若干頭数に違いが出るため、今回は墓葬登記総表から作成したデータを使用する(図5-1・2・3)。

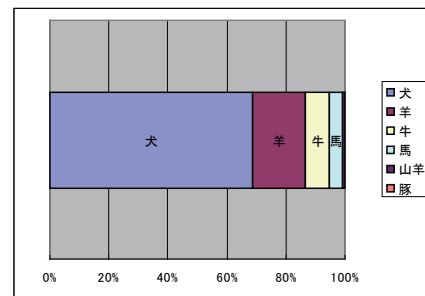
全体の出土頭数は1116頭にのぼり、結果として犬

が766頭と、大きな割合を占めていることが分かる(図5-1)。その他の動物骨の内訳は、羊が201頭、牛が92頭、馬が50頭、山羊が6頭、豚が1頭となった。次にこの結果をパーセンテージで表わしてみた(図5-2)。結果は、犬が68パーセント、羊が18パーセント、牛が8パーセント、馬が4パーセント、山羊が0.5パーセント、豚が0.08パーセントとなった。これまで、玉皇廟文化の埋葬習俗の特徴として、犬を副葬する点が指摘されてきたが(三宅 1999 p225)、今回の統計で具体的な犬の副葬頭数及びその割合を明らかに出来た。一般的な遊牧民の生活において犬は家畜の管理に使われるため、その頭数が家畜の中で最も多くなることは考えにくい。つまり犬を副葬することには、何らかの儀礼的な理由があったと考えられる(3)。

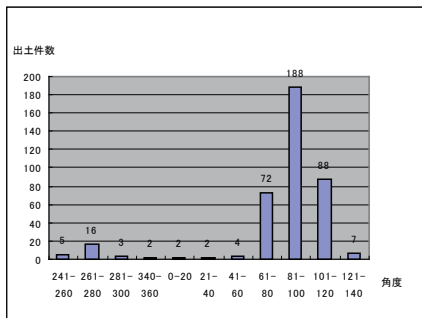
犬以外の動物骨は、遊牧と特に結びつきが強い動物が多く、犬とは骨を副葬する理由が異なる可能性がある。そこで、犬を除いた動物骨の割合についても調べ



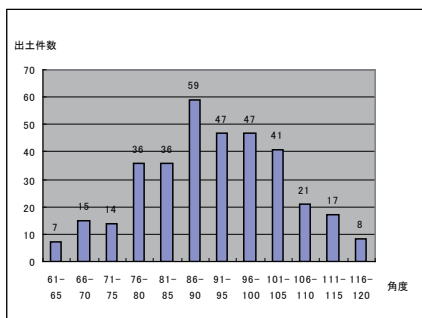
5-1. 出土頭数



5-2. 種類別割合

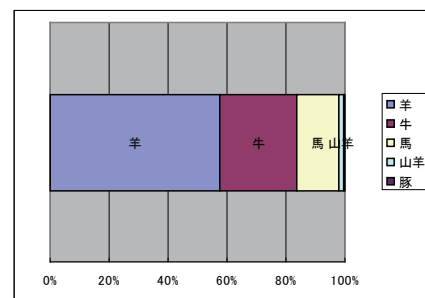


4-1. 20度刻み



4-2. 5度刻み

図4. 玉皇廟の頭位方向



5-3. 犬を除いた種類別割合

図5. 副葬動物骨

てみた(図5-3)。結果は羊が最も多く、57パーセント、牛が26パーセント、馬が14パーセント、山羊が1.7パーセント、豚が0.2パーセントとなった。もし墓に副葬される動物骨が、当時の人々の生業を反映しているとするれば、豚が少なく羊や牛・馬の骨の副葬が多い状況は、当時の人々が遊牧生活を送っていたことを示していると言える。玉皇廟文化の生業形態については、これまでに烏恩も言及している(烏恩 2007 p292)。墓に副葬される動物骨に豚が見られる点や、ひとつの墓地に墓が多く造られる点を挙げ、玉皇廟文化の人々が定住生活を行っていたと主張する。しかし、烏恩はあえて豚の骨を出土する墓を選んでいるように思われる。少なくとも玉皇廟遺跡では、豚の比率は1パーセント以下であり、豚が生活の中で高い比重を占めていたようには考えられない。墓地の形成については内蒙古でも同様な状況が窺え、三宅が指摘しているように(三宅 2003 p100)、現在の遊牧民の生活サイクルや墓地の選定を検討する必要があると考える。よって墓地の形成についても定住生活を送っていた根拠にはなりえず、遊牧生活を送っていたと考えるのが妥当だと思われる。

若干話がそれだが、最後に木棺・二層台の有無について検討する。玉皇廟遺跡の中で、二層台を伴う墓は、298にのぼる。その中で木棺を伴う墓が227基、木棺を伴わない墓が71基見られた。二層台を持たない墓には木棺が伴わないことから、二層台と木棺の間に強い結びつきがあったことが窺える。木棺を伴わない墓についても報告書の個々の墓についての記述の中で、木棺の痕跡認められると述べられていることから(北京市文物研究所 2007 p259-780)、もともとは木棺を安置していたと考えられる。つまり、400基のうち約300基の墓で木棺が安置されていたことになる。

#### 他地域の埋葬習俗との比較

これまで玉皇廟遺跡の埋葬習俗について、墓壙規格、頭位方向、副葬動物骨、木棺・二層台の有無という面から検討を行なった。ここでは、玉皇廟遺跡の埋葬習俗が地域的に独自のものなのかどうかを、小田木の研究と比較しながら考察する。

はじめに墓壙規格について検討するが、小田木の研究に従えば(小田木 1997 p457 図8)(図6)、ある程度まとまった数の墓が見られる涼城地域の遺跡以外

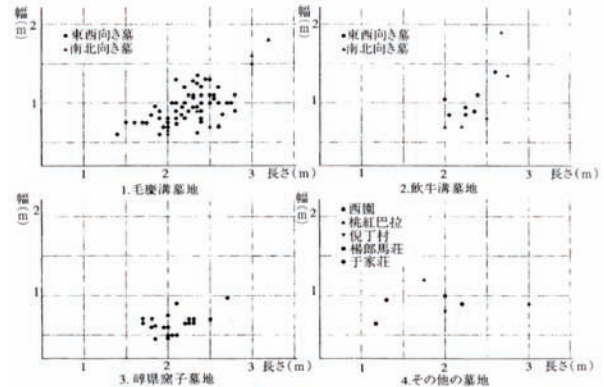


図6. 墓の規格  
(小田木 1997 p457 図8より引用)

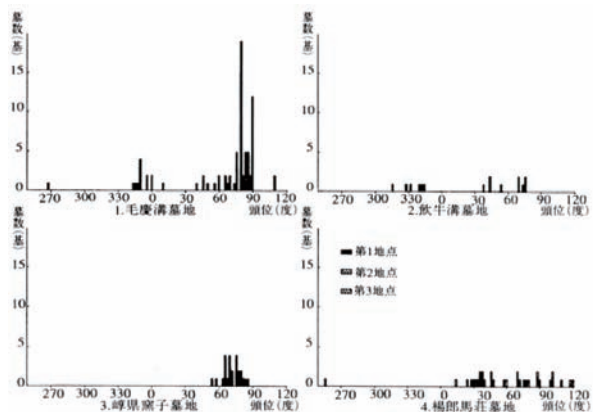


図7. 各墓地の頭位  
(小田木 1997 p459 図9より引用)

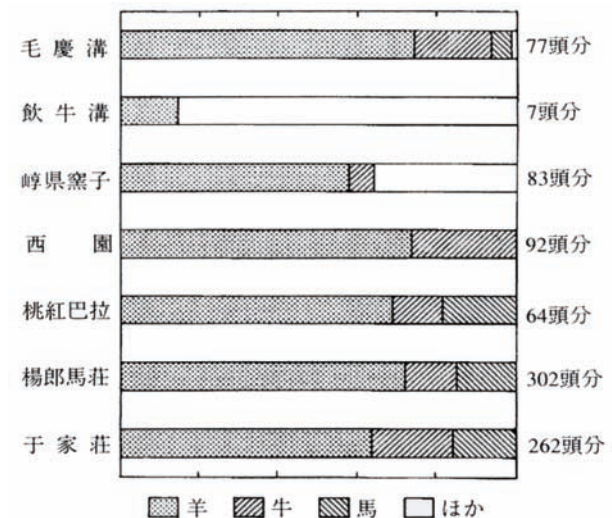


図8. 副葬動物骨  
(小田木 1997 p463 図10より引用)

は、現時点では比較が難しい。涼城地域の中では、毛慶溝墓地(図1-4; 図6-1)が最も多くの墓を検出しており、玉皇廟遺跡に近い傾向を見せる。その他の飲牛溝(図1-3; 図6-2)、山亭県窯子(図1-5; 図6-3)では、毛慶溝に比べて検出された墓が少ないものの、玉皇廟



遺跡での墓壇の長さとの比率から逸脱する墓は見られない。また、小田木がその他の墓地としてまとめた遺跡については、明確には言及できないが涼城地域同様、玉皇廟遺跡の墓壇の規格と大きくは異ならないように思われる。

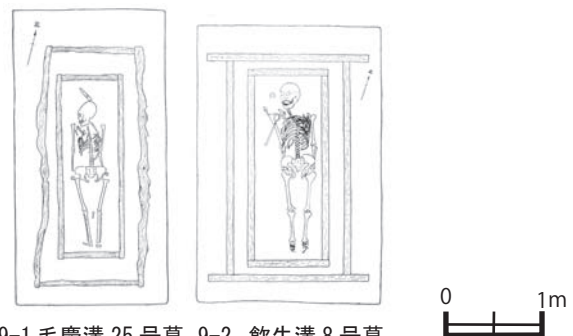
これらのことは地域によって、堅穴土坑墓の規格に大きな違いが無いことを示している。これは、埋葬される遺体が仰臥伸展葬であり、埋葬者の身長をはるかに超えるような墓が見られないことから、埋葬者の身長にあわせて墓を作った結果なのかもしれない。ただ、最も多く堅穴土坑墓を検出する毛慶溝で検出された墓が 81 基であるのに対して、玉皇廟遺跡では 400 基にのぼり、数の面で他の遺跡と比較すれば、玉皇廟遺跡の様相は異常である。

次に死者の頭位について比較する。小田木は、内蒙古、寧夏の頭位をまとめ（小田木 1997 p459 図 9）（図 7）、毛慶溝、飲牛溝の南北向きの墓を除いた、ほぼ全ての頭位が東ないし北東を向いていることを示していると指摘した（小田木 1997 p460）。死者の頭位が東であることは、玉皇廟についても言えることであり、地域を問わず北方系文化の中で、死者の頭位を東に向けることに、共通した考え方を持っていた可能性がある。ただ微々たることではあるが、玉皇廟では 90 度を中心に、南北ほぼ同じ振れ幅の中に頭位が集まる点が、他地域とは異なる。この点は、小田木が指摘するように（小田木 1997 p460）、死者の頭位に遺跡の地形や環境が影響しているかもしれないが、玉皇廟遺跡の全体図（北京市文物研究所 2007 図 3）に等高線が無いことから、詳細は分からない。

墓に副葬される動物骨では玉皇廟遺跡と同様に、犬が最も多くの割合を占めるような遺跡は見られず（小田木 1997 p463 図 10）（図 8）、玉皇廟遺跡独自の埋葬習俗と言える。ただ、玉皇廟遺跡の犬を除いた動物骨の副葬は、内蒙古・寧夏の副葬状況と類似していることから、地域を越えた共通概念を持っていた、あるいは共通の生業形態をもっていたのかもしれない。

葬具について小田木は、内蒙古・寧夏の特徴として、基本的に木棺・木槨を用いない点を挙げている（小田木 1997 p464）（4）。正確には、毛慶溝・飲牛溝で木棺・木槨及び二層台を伴う墓が計 5 基検出されており（内蒙古文物工作隊 1986 p235 図 6；内蒙古自治区文物工作隊 1984 p28 図 5）（図 9-1・2）（5）、その様相は玉

皇廟と大きく異なる。まず、玉皇廟遺跡では木槨を用いた墓が見られないのに対して、毛慶溝・飲牛溝はともに木槨を伴っている墓が多い。また毛慶溝・飲牛溝の木槨を伴う墓は、ほとんどが北を向いている点も玉皇廟遺跡とは異なっている。つまり数、出土状況から見て、玉皇廟遺跡に死者を木槨に安置する独特の埋葬習俗が存在していたと言える。ただ既に述べたように、玉皇廟では木槨を伴っていたと思われる墓が、全体のうち約四分の三にのぼる。このことから、以前に宮本が指摘したように（宮本 2000 p293）、社会階層と木槨の有無が関係しているとは明言できない。



9-1.毛慶溝 25 号墓 9-2. 飲牛溝 8 号墓

図 9. 内蒙古自治区出土木棺墓

（内蒙古文物工作隊 1986 p235 図 6；

内蒙古自治区文物工作隊 1984 p28 図 5 より引用）

#### まとめ

以上、簡単にではあるが玉皇廟遺跡の埋葬習俗についてまとめ、小田木が以前に検討した内蒙古・寧夏地域との比較を行った。玉皇廟と他地域との共通点としては、堅穴土坑墓の規格や、死者の頭位方向、犬以外で墓に副葬される動物骨の比率が挙げられる。このことから、玉皇廟遺跡でも基本的には内蒙古・寧夏地域と同様な埋葬習俗を行っていたことが分かった。特に犬を除いた動物骨の副葬では、埋葬儀礼だけでなく当時の生業形態を反映している可能性も指摘することもできた。一部すでに述べたことの繰り返しになるが、羊・牛・馬といった動物は遊牧と結びつきが強く、玉皇廟遺跡の人間が遊牧を生業としていたことが考えられる。

反対に玉皇廟の独自性として、墓に副葬する動物骨の中で犬が最も多いこと、木棺を伴うと考えられる墓が、全体のうち約四分の三にのぼることが挙げられた。すでに述べたように、一般的な遊牧生活で家畜よりも多く犬を飼うことが無いため、犬の骨を墓に副葬することには、何らかの儀礼的な理由があったと考える。た

だし、今回はそれがどういった理由かまでは、突き止めることが出来なかった。

今後は、民族学も視野に入れた埋葬習俗の研究が必要となってくると考える。そのため今後は、民族学も視野に入れた埋葬習俗の研究が必要となってくると考える。また、今回まとめた玉皇廟遺跡の埋葬習俗が、広く玉皇廟文化全体に当てはめうるのかどうか、墓の規格や副葬動物骨、木棺の有無と副葬品の多寡が関係しているのかについても今後の課題としたい。

## 註

(1) 燕山南麓の北方系青銅器文化については、山戎文化（北京市文物研究所山戎文化考古隊 1989 p35）、北辛堡文化（林漢 1996 p180）、玉皇廟類型（三宅 1999 p203）といった命名もなされている。三宅は、北方系文化の中の一地方類型として捉えているが、北方系文化の定義そのものが曖昧なため、あえて類型という言葉を使う必要はないと考える。そのため、ここでは「文化」という言葉を使う。

(2) 宮本は、玉皇廟文化での動物の副葬については、被葬者の社会的な意味以外のものを現している可能性を指摘している（宮本 2000 p294）。

(3) 楊建華は、燕山南麓では犬が多く副葬される一方で、内蒙古自治区では羊が最も多くなる点について、両地域の経済体系の違いを反映していると述べる（楊建華 2004 p102）。

(4) ここでいう木槨は箱型の形状をしておらず、厳密には木槨と言えないかもしれない。しかし今のところほかに適切な名称がないため、便宜的に木槨と呼ぶこととする。

(5) 図版は掲載されていないが、毛慶溝 81 号墓（内蒙古文物工作隊 1986 p232、p313 毛慶溝墓葬登記表）で棺・二層台が、飲牛溝 15 号墓（内蒙古自治区文物工作隊 1984 p32 涼城飲牛溝墓葬登記表）で棺・槨・二層台が確認されている。また、頭位が東で木棺を伴う墓が毛慶溝 23 号墓（内蒙古文物工作隊 p234 図 5）で検出されている。

## 参考文献

### < 日文 >

- 小田木治太郎 1997  
『中国北方「青銅器文化」の墓』『宗教と考古学』p437-471  
勤誠社  
三宅俊彦 1999  
『中国北方系青銅器文化の研究』國學院大學大学院研究叢書 文学研究科 6  
三宅俊彦 2003  
『内蒙古中南部における青銅器時代の遺跡とその立地』『博望』第 4 号  
宮本一夫 2000  
『中国古代北疆史の考古学的研究』中国書店

### < 中文 >

- 烏恩 2007  
『北方草原考古学文化研究』科学出版社  
靳楓毅 2001  
『軍都山玉皇廟墓地的特徵及其族属問題』『蘇秉琦与当代中国考古学』科学出版社  
楊建華 2004  
『春秋戰国時期中国北方文化帶的形成』文物出版社  
林漢 1996  
『東胡与山戎的考古探索』『環渤海考古國際學術討論會論文集』p174-181 知識出版社

### < 報告書 >

- 内蒙古文物工作隊 1986  
『毛慶溝墓地』『鄂爾多斯式青銅器』p227-315 文物出版社  
内蒙古自治区文物工作隊 1984  
『涼城县飲牛溝墓葬清理簡報』『内蒙古文物考古』第三期 p26-32  
北京市文物研究所山戎文化考古隊 1989  
『北京市延慶軍都山東周山戎部落墓地發掘紀略』『文物』1989 - 8 p17-35、p43  
北京意文物研究所 1990  
『北京考古四十年』p79-86 北京燕山出版社  
北京市文物研究所 2007  
『軍都山墓地 玉皇廟』文物出版社

(e-mail:eldissa06@yahoo.co.jp)

墓葬 番号	長さ	幅	頭位 角度	木柵	二層台	馬	牛	犬	羊	山羊	豚
M1	-	0.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-
M2	3.1	1.26	100	○	○	2	0	1	0	0	0
M3	2.42	0.82	92	×	○	-	-	-	-	-	-
M4	2.37	0.72	84	○	○	-	-	-	-	-	-
M5	2.2	0.72	80	×	×	-	-	-	-	-	-
M6	2.1	0.84	69	×	×	-	-	-	-	-	-
M7	2.7	1.07	78	×	×	-	-	-	-	-	-
M8	2.35	0.77	58	×	○	-	-	-	-	-	-
M9	2.44	0.92	80	×	×	-	-	-	-	-	-
M10	2.52	0.96	92	○	○	0	1	0	1	0	0
M11	2.8	0.98	87	○	○	3	0	3	0	0	0
M12	-	0.7	262	×	×	0	0	0	0	0	0
M13	2.82	1.4	81	○	○	1	0	1	0	0	0
M14	1.8	0.52	82	×	×	0	0	0	0	0	0
M15	1.6	0.6	89	×	×	0	0	0	0	0	0
M16	-	0.76	95	×	×	0	0	0	0	0	0
M17	3	0.94	-	×	×	2	0	0	0	0	0
M18	3.6	3.23	77	○	○	16	3	4	7	0	0
M19	2.42	0.88	84	×	○	-	-	-	-	-	-
M20	2.74	1.12	80	○	○	0	1	3	0	2	0
M21	2.65	0.9	265	×	○	0	0	0	0	0	0
M22	3.3	1.52	97	○	○	0	1	3	0	1	0
M23	2.4	0.98	80	×	×	0	1	2	0	0	0
M24	1.54	0.58	89	×	×	0	0	0	0	0	0
M25	-	1.08	266	-	-	0	1	4	1	0	0
M26	2.7	1.26	86	○	○	0	1	0	0	0	0
M27	2.8	1	-	×	×	0	1	3	3	0	0
M28	-	0.96	-	×	×	0	1	3	0	0	0
M29	2.65	1.2	98	×	○	0	0	3	0	0	0
M30	1.86	0.72	92	×	×	0	0	0	0	0	0
M31	2.7	1.08	84	×	○	0	0	0	0	0	0
M32	2.1	0.8	-	×	×	0	0	0	0	0	0
M33	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-
M34	1.9	0.75	-	×	×	0	0	0	0	0	0
M35	2.6	0.8	83	×	○	-	-	-	-	-	-
M36	2.5	0.92	93	×	○	-	-	-	-	-	-
M37	-	0.8	86	×	○	0	0	0	0	0	0
M38	2.2	0.8	112	×	○	0	0	0	0	0	0
M39	2.2	0.72	101	×	×	-	-	-	-	-	-
M40	2.3	0.92	98	×	○	0	0	0	0	0	0
M41	-	1	91	×	○	0	1	2	1	0	0
M42	2	0.78	84	×	×	0	0	0	0	0	0
M43	2.2	0.96	96	×	○	0	0	2	0	0	0
M44	2.86	1.2	98	×	○	0	0	2	0	0	0
M45	2.24	0.88	268	×	○	0	0	0	0	0	0
M46	2.46	1	91	○	○	0	0	2	0	0	0
M47	1.9	0.7	109	×	○	0	0	1	0	0	0
M48	2.8	0.92	88	○	○	0	1	3	2	0	0
M49	2.7	0.96	97	×	○	0	1	4	2	0	0
M50	2.1	0.72	74	×	○	0	0	0	0	1	0
M51	2.8	1.03	84	○	○	0	1	5	3	0	0
M52	3.34	1.06	89	○	○	3	0	4	1	0	0
M53	1.18	0.68	108	×	×	0	0	0	0	0	0
M54	2.7	1	89	○	○	0	1	3	0	0	0
M55	2.3	0.68	96	×	○	0	0	1	0	0	0
M56	1.3	0.48	290	×	×	0	0	0	0	0	0
M57	3.3	0.88	269	○	○	0	1	3	0	0	0
M58	2.7	0.92	82	○	○	0	1	2	0	0	0
M59	1.5	0.6	105	○	○	0	0	1	0	0	0
M60	2.6	1.08	94	○	○	0	0	2	0	0	0
M61	2.8	0.9	102	○	○	0	0	5	0	0	0
M62	2.32	0.84	113	○	○	0	0	1	0	0	0
M63	1.8	0.8	91	○	○	0	0	2	0	0	0
M64	2.4	0.88	277	○	○	0	0	0	0	0	0
M65	2.6	0.92	281	○	○	0	0	1	0	0	0
M66	2.7	1	276	○	○	0	0	4	0	0	0
M67	1.26	0.64	83	×	×	0	0	0	0	0	0
M68	2.1	0.68	273	×	×	0	0	1	0	0	0
M69	2.5	1.12	94	○	○	0	0	1	0	0	0
M70	2.8	1.12	92	○	○	-	-	-	-	-	-

墓葬 番号	長さ	幅	頭位 角度	木柵	二層台	馬	牛	犬	羊	山羊	豚
M71	2.8	0.86	91	○	○	-	-	-	-	-	-
M72	2.24	0.88	92	○	○	-	-	-	-	-	-
M73	2.5	0.82	87	○	○	0	0	0	0	0	0
M74	3.8	1.04	96	○	○	2	1	4	4	0	0
M75	2.47	0.9	100	○	○	0	1	2	3	0	0
M76	2.5	0.96	93	○	○	0	0	0	0	0	0
M77	2.65	0.95	89	○	○	0	0	0	0	0	0
M78	2.2	0.67	59	×	×	-	-	-	-	-	-
M79	2.1	0.77	-	×	×	-	-	-	-	-	-
M80	2.14	0.76	77	×	×	0	0	0	0	0	0
M81	2.4	0.96	88	○	○	0	0	5	0	0	0
M82	2.6	0.92	89	○	○	-	-	-	-	-	-
M83	2.34	0.84	104	×	○	0	0	5	0	0	0
M84	2.46	1.1	100	○	○	0	0	5	0	0	0
M85	0.9	0.34	101	×	×	0	0	0	0	0	0
M86	2.57	1.16	100	○	○	0	1	4	0	0	0
M87	2.6	0.86	96	○	○	0	0	3	1	0	0
M88	2	0.8	87	×	○	0	0	0	0	0	0
M89	2.9	1	99	○	○	0	1	3	0	0	0
M90	-	-	-	×	×	0	0	0	0	0	0
M91	1.44	0.54	118	×	×	0	0	0	0	0	0
M92	1.36	0.5	99	×	×	0	0	0	0	0	0
M93	2.36	0.8	112	×	○	0	0	0	0	0	0
M94	1.7	0.56	92	×	○	0	0	1	0	0	0
M95	2.92	0.88	93	○	○	0	1	7	3	0	0
M96	2.64	1	101	○	○	0	0	1	0	0	0
M97	2.5	0.92	95	○	○	0	0	0	0	0	0
M98	2.7	0.82	86	○	○	0	0	0	0	0	0
M99	2.6	1	90	○	○	0	0	0	0	0	0
M100	2.25	0.69	87	×	×	0	0	0	0	0	0
M101	-	0.72	72	×	○	-	-	-	-	-	-
M102	2.5	0.9	73	×	○	-	-	-	-	-	-
M103	2.35	0.72	62	×	×	-	-	-	-	-	-
M104	2.22	0.96	95	○	○	0	0	0	0	0	0
M105	2.77	0.98	113	○	○	0	0	0	0	0	0
M106	1.82	0.73	86	○	○	0	0	0	0	0	0
M107	2.05	0.74	99	×	×	0	0	0	0	0	0
M108	2.39	0.7	84	○	○	0	0	4	0	0	0
M109	2.05	0.74	83	×	○	0	0	2	0	0	0
M110	2.28	0.87	85	○	○	0	0	2	2	0	0
M111	2.45	0.92	87	○	○	0	0	2	2	0	0
M112	-	0.56	92	○	○	0	0	0	0	0	0
M113	2.25	1.02	89	○	○	0	0	2	0	0	0
M114	2.42	0.92	91	○	○	0	0	4	1	0	0
M115	-	0.78	106	×	×	0	0	1	0	0	0
M116	-	0.8	93	×	×	0	0	2	0	0	0
M117	2.61	0.92	107	○	○	0	1	3	3	0	0
M118	2.4	1.16	88	○	○	0	0	2	0	0	0
M119	2.4	0.84	96	○	○	0	0	3	0	0	0
M120	1.9	0.84	97	○	○	0	0	1	0	0	0
M121	1.6	0.52	72	×	○	0	0	1	0	0	0
M122	2.65	1.1	88	○	○	0	1	4	3	0	0
M123	1.43	0.54	79	×	×	0	0	1	0	0	0
M124	2.5	0.9	84	○	○	0	1	3	6	0	0
M125	2.35	0.74	82	×	×	0	0	0	0	0	0
M126	2.5	0.96	91	○	○	0	0	5	1	0	0
M127	2.2	0.76	69	○	○	0	0	3	1	0	0
M128	2.65	0.84	76	○	○	0	1	6	4	0	0
M129	2.9	0.9	80	○	○	0	1	6	4	0	0
M130	2.55	0.86	89	○	○	0	0	3	0	0	0
M131	2.7	0.98	87	○	○	0	1	2	1	0	0
M132	1.92	0.7	104	○	○	0	0	1	2	0	0
M133	2.6	0.9	95	○	○	0	1	4	5	0	0
M134	2.5	0.85	83	○	○	0	1	4	1	0	0
M135	1.8	0.8	82	○	○	0	0	2	0	0	0
M136	1.52	0.5	77	×	×	0	0	1	1	0	0
M137	2.4	0.89	103	○	○	0	1	3	3	0	0
M138	2.6	1.06	102	○	○	0	1	10	4	0	0
M139	2.77	0.9	100	○	○	0	0	2	0	0	0
M140	1.83	0.63	106	×	○	0	0	0	0	0	0

表 玉皇廟遺跡出土埋葬遺構観察表（頭位角度は北を0度として計測）

墓葬 番号	長さ	幅	頭位 角度	木柵	二層台	馬	牛	犬	羊	山羊	豚
M141	1.35	0.41	111	×	○	0	0	1	0	0	0
M142	2.3	0.89	107	○	○	0	1	3	4	0	0
M143	2.64	0.96	107	○	○	0	1	6	4	0	0
M144	2.65	1	290	○	○	0	0	4	2	0	0
M145	2.67	0.8	117	○	○	0	0	0	0	0	0
M146	1.07	0.34	106	×	×	0	0	0	0	0	0
M147	1.33	0.41	109	×	○	0	0	0	0	0	0
M148	2.39	0.83	100	○	○	0	1	2	2	0	0
M149	2.45	1.02	86	○	○	0	0	4	0	0	0
M150	2.7	0.92	118	○	○	0	0	5	0	0	0
M151	3.91	1.7	109	○	○	2	1	6	3	0	0
M152	1.35	0.5	115	○	○	0	0	0	0	0	0
M153	2.36	0.95	126	○	○	0	1	4	3	0	0
M154	1.96	0.66	127	○	○	0	0	3	0	0	0
M155	1.55	0.52	110	×	○	0	0	0	0	0	0
M156	3.4	0.84	84	○	○	4	1	4	6	0	0
M157	1.75	0.58	116	×	○	0	0	0	0	0	0
M158	2.4	1	266	○	○	0	1	5	1	0	0
M159	0.98	0.5	97	×	×	0	0	0	0	0	0
M160	2.51	0.93	266	○	○	0	1	2	1	0	0
M161	2.65	0.9	89	○	○	0	0	5	0	0	0
M162	2.1	0.74	63	×	○	0	0	0	0	0	0
M163	2.55	0.97	90	○	○	0	0	3	0	0	0
M164	2.4	0.91	86	○	○	0	0	2	1	0	0
M165	1.56	0.66	73	×	×	0	0	0	0	0	0
M166	1.75	0.76	103	×	×	0	0	1	1	0	0
M167	2.63	1.05	68	○	○	0	1	5	3	0	0
M168	2.55	0.84	119	○	○	0	1	7	0	0	0
M169	2.7	0.9	110	○	○	0	0	0	0	0	0
M170	2.69	1.06	104	○	○	0	0	2	0	0	0
M171	2.5	0.95	100	○	○	0	1	12	5	0	0
M172	2	0.64	77	×	×	0	0	0	0	0	0
M173	2.6	0.89	80	×	×	0	0	1	0	0	1
M174	2.75	1.75	88	○	○	2	1	5	8	0	0
M175	2.5	1.2	88	○	○	0	1	6	1	0	0
M176	2.43	0.7	120	○	○	0	1	1	2	0	0
M177	1.5	0.59	93	×	×	0	0	1	0	0	0
M178	2.6	1.24	105	○	○	0	1	5	1	0	0
M179	2.65	0.94	107	○	○	0	0	3	1	0	0
M180	2.45	0.96	93	○	○	0	0	2	0	0	0
M181	2.35	0.86	103	○	○	0	0	1	0	0	0
M182	2.6	1.13	95	○	○	0	0	4	0	0	0
M183	2.02	0.8	87	○	○	0	0	5	0	0	0
M184	2.02	0.8	86	○	○	0	0	3	0	0	0
M185	2.65	0.98	94	○	○	0	0	4	0	0	0
M186	2.9	1.3	83	○	○	0	1	4	0	0	0
M187	2.52	0.9	84	○	○	0	0	0	0	0	0
M188	2.8	0.94	62	○	○	0	1	8	2	0	0
M189	2.36	0.9	94	○	○	0	0	5	0	0	0
M190	2.63	0.95	274	○	○	0	1	2	1	0	0
M191	2.55	0.9	94	○	○	0	0	3	0	0	0
M192	2	0.86	97	○	○	0	0	3	0	0	0
M193	1.75	0.76	101	×	○	0	0	0	0	0	0
M194	1.15	0.44	96	○	○	0	0	1	0	0	0
M195	1.6	0.9	96	×	○	0	0	1	0	0	0
M196	2.47	1.18	98	○	○	0	1	3	0	0	0
M197	2.25	0.97	99	○	○	0	0	4	0	0	0
M198	2.5	0.82	102	○	○	0	0	4	0	0	0
M199	2.35	0.88	111	○	○	0	1	2	1	0	0
M200	2.5	1	98	○	○	0	0	1	0	0	0
M201	1.97	0.71	118	×	○	0	0	0	0	0	0
M202	2.25	0.9	114	○	○	0	0	0	0	0	0
M203	2.45	1	85	○	○	0	1	4	1	0	0
M204	2.7	1	112	○	○	0	0	2	1	0	0
M205	2.72	1.05	108	○	○	0	0	4	0	0	0
M206	2.5	0.95	111	○	○	0	0	1	0	0	0
M207	2.64	1.03	97	○	○	0	0	3	0	0	0
M208	2.75	1.12	111	○	○	0	1	2	0	0	0
M209	2.9	1.18	100	○	○	0	1	9	4	0	0
M210	2.8	0.99	102	○	○	0	2	6	1	0	0

墓葬 番号	長さ	幅	頭位 角度	木柵	二層台	馬	牛	犬	羊	山羊	豚
M211	2.47	0.93	94	○	○	0	0	3	0	0	0
M212	2.85	1.18	113	○	○	1	0	6	2	0	0
M213	2.46	0.98	97	○	○	0	1	3	0	0	0
M214	2.85	1.1	102	○	○	0	0	0	0	0	0
M215	2.35	0.86	103	○	○	0	0	1	0	0	0
M216	2.7	1.05	100	○	○	0	0	6	0	0	0
M217	3.72	2.9	106	○	○	2	0	8	0	0	0
M218	2.15	0.77	107	○	○	0	0	2	0	0	0
M219	2.3	0.99	96	○	○	0	0	2	0	0	0
M220	2.5	0.92	99	○	○	0	1	4	4	0	0
M221	2.17	0.84	97	○	○	0	0	4	1	0	0
M222	2.2	0.74	98	○	○	0	0	3	1	0	0
M223	2.65	1.08	101	○	○	0	0	2	1	0	0
M224	2.25	0.84	88	○	○	0	0	3	3	0	0
M225	2.6	0.94	97	○	○	0	0	3	0	0	0
M226	2.95	1.2	102	○	○	0	1	10	0	0	0
M227	2.6	1.14	104	○	○	0	1	2	0	0	0
M228	2.71	1.06	107	○	○	0	0	2	1	0	0
M229	2.78	0.93	100	○	○	0	1	3	1	0	0
M230	3.78	3.1	92	○	○	2	1	4	3	0	0
M231	2.7	1.05	105	○	○	0	0	2	0	0	0
M232	2.95	1.04	92	○	○	0	0	5	0	0	0
M233	2.95	1.2	102	○	○	0	1	9	0	0	0
M234	2.6	0.94	118	○	○	0	1	5	0	0	0
M235	1.3	0.48	105	×	○	0	0	0	0	0	0
M236	2.67	1.1	99	○	○	0	1	4	1	0	0
M237	2.78	1.08	105	○	○	0	0	3	0	0	0
M238	1.57	0.6	111	×	×	0	0	1	0	0	0
M239	1.65	0.62	82	×	○	0	0	0	0	0	0
M240	2.8	0.94	88	○	○	0	0	1	0	0	0
M241	2.85	1	95	○	○	0	1	5	2	0	0
M242	1.24	0.55	30	×	×	0	0	0	0	0	0
M243	2.05	0.52	5	×	×	0	0	0	0	0	0
M244	2	0.82	358	×	○	0	0	0	0	0	0
M245	2.6	0.84	98	○	○	0	0	3	0	0	0
M246	1.76	0.6	64	×	×	0	0	0	0	0	0
M247	2.55	0.96	97	○	○	0	0	3	0	0	0
M248	2.25	0.82	86	×	×	0	0	0	0	0	0
M249	2	0.7	272	×	×	0	0	0	0	0	0
M250	3.55	3.3	86	○	○	7	0	0	0	0	0
M251	2.6	0.8	83	○	○	0	1	5	0	0	0
M252	2.4	0.87	107	○	○	0	0	2	0	1	0
M253	1	0.35	91	×	×	0	0	0	0	0	0
M254	2.55	1	101	○	○	0	0	2	0	0	0
M255	0.98	0.38	121	×	×	0	0	0	0	0	0
M256	2.95	1.2	102	○	○	0	1	5	3	0	0
M257	3.05	1.03	96	○	○	1	0	6	0	0	0
M258	3.1	1.14	104	○	○	0	1	5	0	0	0
M259	1.4	0.63	112	×	○	0	0	1	0	0	0
M260	2.47	1.01	90	○	○	0	0	1	0	0	0
M261	3.1	1.5	103	○	○	0	1	6	5	0	0
M262	1.49	0.56	107	×	○	0	0	1	0	0	0
M263	3.17	1.1	102	○	○	0	1	3	0	0	0
M264	2.43	1.02	92	○	○	0	1	5	0	0	0
M265	2.55	0.94	90	○	○	0	0	2	0	0	0
M266	3.15	1	101	○	○	0	1	3	0	0	0
M267	2.06	0.96	105	×	○	0	0	2	0	0	0
M268	2.3	0.85	91	○	○	0	0	2	0	0	0
M269	2.4	0.7	102	○	○	0	0	0	0	0	0
M270	2.7	1.2	82	○	○	0	0	1	1	0	0
M271	2.5	0.83	84	○	○	0	0	1	2	0	0
M272	2.5	0.96	97	○	○	0	0	2	0	0	0
M273	2.2	0.82	88	○	○	0	0	2	0	0	0
M274	2.2	0.62	98	×	○	0	0	0	0	0	0
M275	3	1.05	87	○	○	0	1	2	2	0	0
M276	2.33	0.71	280	×	×	0	0	0	0	0	0
M277	2.2	0.89	104	×	×	0	0	1	0	1	0
M278	2.45	0.82	92	○	○	0	1	2	2	0	0
M279	2.55	0.92	95	○	○	0	1	5	2	0	0
M280	3.04	1	96	○	○	0	1	8	3	0	0

表 玉皇廟遺跡出土埋葬遺構観察表 (つづき)



墓葬 番号	長さ	幅	頭位 角度	木槨	二層台	馬	牛	犬	羊	山羊	豚
M281	2.1	0.68	104	×	×	0	0	0	0	0	0
M282	2.55	1	104	○	○	0	1	4	1	0	0
M283	2.2	0.78	92	×	×	0	0	0	0	0	0
M284	1.8	0.78	—	—	—	0	0	0	0	0	0
M285	1.1	0.42	95	×	×	0	0	0	0	0	0
M286	0.9	0.44	112	×	×	0	0	0	0	0	0
M287	0.8	0.34	—	—	—	0	0	0	0	0	0
M288	2	0.74	91	×	○	0	0	0	0	0	0
M289	1.35	0.6	89	×	○	0	0	0	0	0	0
M290	1.88	0.6	88	×	×	0	0	0	0	0	0
M291	1.75	0.62	80	×	○	0	0	0	0	0	0
M292	2.2	0.78	95	×	×	0	0	0	0	0	0
M293	1.9	0.78	251	×	×	0	0	0	0	0	0
M294	2.55	0.84	74	○	○	0	0	2	1	0	0
M295	2.64	1.07	278	○	○	0	0	1	1	0	0
M296	2.25	0.9	90	○	○	0	0	5	1	0	0
M297	2.1	0.8	278	○	○	0	0	1	0	0	0
M298	2.08	0.7	280	○	○	0	0	0	0	0	0
M299	2	0.84	96	×	○	0	0	0	0	0	0
M300	3.15	1.12	103	○	○	0	0	0	0	0	0
M301	2.3	0.86	87	○	○	0	1	3	0	0	0
M302	2.05	0.8	90	×	○	0	0	5	0	0	0
M303	2.05	0.84	76	○	○	0	1	11	0	0	0
M304	2.5	1	82	×	○	0	0	6	0	0	0
M305	2.35	0.92	76	×	○	0	0	1	0	0	0
M306	2.25	0.88	73	×	○	0	0	1	0	0	0
M307	2.35	0.82	89	×	×	0	0	0	0	0	0
M308	2.05	0.8	80	×	○	0	0	0	0	0	0
M309	1.95	0.8	89	×	×	0	0	0	0	0	0
M310	0.9	0.36	92	×	×	0	0	0	0	0	0
M311	1.85	0.78	68	×	×	0	0	0	0	0	0
M312	2.05	0.9	85	×	×	0	0	3	0	0	0
M313	2	0.72	72	×	×	0	0	0	0	0	0
M314	2.5	0.9	63	×	×	0	1	2	0	0	0
M315	2.05	0.8	79	×	×	0	0	3	0	0	0
M316	1.87	0.8	84	×	×	0	0	1	0	0	0
M317	2.3	0.85	80	×	×	0	0	0	0	0	0
M318	2.15	0.78	130	×	○	0	0	2	0	0	0
M319	2.65	0.92	110	×	×	0	0	14	0	0	0
M320	2.35	0.8	123	×	○	0	1	1	1	0	0
M321	2.2	0.81	131	×	×	0	1	0	0	0	0
M322	2.25	0.95	137	×	×	0	0	0	0	0	0
M323	2.65	0.89	109	×	×	0	0	0	0	0	0
M324	2.4	0.88	103	×	×	0	0	0	0	0	0
M325	2.4	0.78	23	×	×	0	0	1	0	0	0
M326	2.5	1.1	92	×	○	0	0	0	0	0	0
M327	2.1	1.04	90	×	×	0	0	0	0	0	0
M328	2.1	0.72	68	○	○	0	0	1	0	0	0
M329	2.05	0.83	99	×	×	0	0	0	0	0	0
M330	2.1	0.94	14	×	×	0	0	0	0	0	0
M331	2.1	0.87	104	×	×	0	0	2	0	0	0
M332	2.2	0.78	112	×	×	0	1	3	0	0	0
M333	2.35	1.02	115	×	×	0	1	11	0	0	0
M334	2.7	1	80	○	○	0	1	4	3	0	0
M335	1.5	0.5	90	×	○	0	0	1	0	0	0
M336	2.5	0.9	88	○	○	0	0	2	0	0	0
M337	1.66	0.8	82	○	○	0	0	1	0	0	0
M338	2.75	0.9	90	○	○	0	0	7	2	0	0
M339	2.65	1.15	88	○	○	0	0	3	0	0	0
M340	2.35	0.86	76	○	○	0	0	2	0	0	0
M341	2.8	1.14	76	○	○	0	0	2	0	0	0
M342	2.2	0.78	75	○	○	0	0	2	0	0	0
M343	2.2	0.74	88	×	○	0	0	3	0	0	0
M344	2.9	1.2	77	○	○	0	1	7	3	0	0
M345	2.35	0.85	65	○	○	0	0	3	0	0	0
M346	2.4	0.83	70	○	○	0	0	2	0	0	0
M347	2.45	0.85	84	○	○	0	0	0	0	0	0
M348	2.4	0.8	95	○	○	0	0	3	0	0	0
M349	2.58	1	80	○	○	0	1	6	3	0	0
M350	2.5	0.9	80	○	○	0	0	0	0	0	0

墓葬 番号	長さ	幅	頭位 角度	木槨	二層台	馬	牛	犬	羊	山羊	豚
M351	2.03	0.65	78	○	○	0	0	0	0	0	0
M352	2.45	0.82	82	○	○	0	0	0	0	0	0
M353	2.04	0.7	58	×	×	0	0	0	0	0	0
M354	2.04	0.64	76	×	×	0	0	0	0	0	0
M355	2	0.5	87	×	×	0	0	0	0	0	0
M356	2.04	0.48	62	×	×	0	0	0	0	0	0
M357	2.3	0.76	70	○	○	0	0	0	0	0	0
M358	2.3	0.67	66	○	○	0	0	0	0	0	0
M359	1.7	0.51	244	×	×	0	0	0	0	0	0
M360	1.92	0.55	67	×	×	0	0	0	0	0	0
M361	1.9	0.67	73	×	×	0	0	0	0	0	0
M362	2.5	0.6	248	×	×	0	0	0	0	0	0
M363	1.65	0.55	60	×	×	0	0	0	0	0	0
M364	2.15	0.66	72	○	○	0	0	1	0	0	0
M365	1.75	0.69	347	×	×	0	0	0	0	0	0
M366	2.7	0.85	76	○	○	0	0	1	2	0	0
M367	2.1	0.5	71	×	×	0	0	0	0	0	0
M368	2.35	0.8	89	○	○	0	0	5	0	0	0
M369	2.9	0.92	88	○	○	0	0	5	0	0	0
M370	2.37	0.72	86	○	○	0	0	1	3	0	0
M371	2.22	0.6	79	○	○	0	0	2	0	0	0
M372	2.35	0.84	77	○	○	0	0	0	0	0	0
M373	2.7	0.86	80	×	○	0	0	3	2	0	0
M374	2.5	0.98	86	○	○	0	0	0	0	0	0
M375	2.3	0.65	256	○	○	0	0	0	0	0	0
M376	2.2	0.78	88	○	○	0	0	0	0	0	0
M377	2.7	0.78	86	×	○	0	0	0	0	0	0
M378	2.25	0.89	80	×	○	0	0	2	0	0	0
M379	2.25	0.74	81	×	○	0	0	0	0	0	0
M380	2.25	0.76	81	○	○	0	0	0	0	0	0
M381	2.22	0.7	85	×	×	0	0	0	0	0	0
M382	2.3	0.8	70	×	○	0	0	1	0	0	0
M383	2	0.5	92	×	×	0	0	0	0	0	0
M384	2.65	1	94	○	○	0	1	3	2	0	0
M385	2.7	0.84	102	○	○	—	—	—	—	—	—
M386	2.7	0.86	81	○	○	—	—	—	—	—	—
M387	2.2	0.8	104	×	○	0	0	0	0	0	0
M388	2.05	0.52	77	×	×	0	0	0	0	0	0
M389	2.17	0.75	68	×	○	0	0	0	0	0	0
M390	2.15	0.71	78	○	○	0	0	0	0	0	0
M391	2.4	0.7	68	×	○	0	0	0	0	0	0
M392	2.3	0.66	85	×	○	0	0	2	0	0	0
M393	2.4	0.63	72	×	×	0	0	1	0	0	0
M394	2.58	0.84	80	○	○	0	1	4	0	0	0
M395	2.35	0.8	248	×	○	0	0	2	0	0	0
M396	—	0.68	68	×	○	0	0	0	0	0	0
M397	2.4	0.8	66	○	○	0	0	0	0	0	0
M398	2.4	0.85	76	×	○	0	0	0	0	0	0
M399	2.55	0.82	74	×	○	0	0	2	0	0	0
M400	2.35	0.78	66	×	○	0	0	2	0	0	0

表 玉皇廟遺跡出土埋葬遺構観察表 (つづき)